

泉州銀行との経営統合について

当行は、平成20年2月22日、泉州銀行と共同して持株会社を設立する方式により、経営統合について協議を開始することを発表いたしました。

4月1日には、「統合推進委員会」を設置、経営統合に向けた具体的な内容の検討・協議を開始し、5月30日には、来年4月1日に新金融持株会社を設立することを目指した「経営統合に関する基本合意書」を締結いたしました。その主な内容は以下の通りです。

1. 経営統合の目的

関西地域における代表的な独立系の金融グループとして最良の地域金融機関となることを目的とし、地域金融機関としての公共性に鑑み、経営基盤の拡大、発展を通じて地域金融の安定化と地域経済の健全な発展を図るとともに、経営の独立性を確保しつつ、株式会社三菱東京UFJ銀行との資本関係の有効活用を通じて、地域顧客の利便性、サービス及び内部管理体制の質的向上を目指します。

2. 統合形態

平成21年4月1日を目処に、共同株式移転による持株会社を設立することに向けて、検討・協議を進めてまいります。

3. 経営統合後の方針

- (1) 経営統合の目的に鑑み、両者の統合効果を最大化するために、持株会社設立後、将来的に両行が合併することを含めて、検討・協議を進めてまいります。
- (2) 両行の傘下の事業子会社を、機能別組織とした持株会社の事業子会社とする可能性を含めて検討してまいります。
- (3) 両行の基幹システム等について、経営統合の目的に鑑み、その効果、コストを総合的に考慮の上、一本化する可能性を含めて検討してまいります。

以上のようなことを主な合意点として、本年11月28日を期限とした最終合意に向けて詳細な検討を行ってまいります。

統合後の新金融持株会社は、預金4兆円、貸出金3兆円、関西経済の中心である大阪で最大の独立系地域金融機関となり、規模・安全性・収益性で圧倒的に優位な地位を

獲得することになります。

両行がそれぞれの地域で構築してきた地域金融機関としての基盤やネットワークをベースに、それぞれの特色であるインベストメントバンキングや個人向けリテールバンキングを活かしてシナジー効果を発揮し、近畿NO.1銀行を目指してまいります。

このように、当行は行政の広域化を先取りして、大阪梅田池銀ビルを起点として新たな第一歩を踏み出します。今後とも、より一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

持株会社の概要

(1) 商号	公募による方法も含めて、今後両行にて協議して決定いたします。
(2) 事業内容	銀行、その他銀行法により子会社とすることのできる会社の経営管理及び附帯する業務を行います。
(3) 本社所在地	大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 (大阪梅田池銀ビル)
(4) 代表取締役候補者	代表取締役会長 吉田 憲正 (現:泉州銀行 取締役頭取) 代表取締役社長兼CEO (最高経営責任者) 服部 盛隆 (現:池田銀行 取締役頭取)

新金融グループのコアエリア

